



「ありがとう」と「笑顔」があふれる学校をめざして

校長 葉山 靖彦

令和7年度も3月に入り、3年生を送り出す日が近づいてきました。本年度は、生徒会を中心に「縦割り活動」に力を入れて取り組んでくれました。3年生が中心になって、新入生歓迎や無言清掃伝達、体育大会の応援、合唱コンクールの練習、縦割りあいさつ活動、等々、学年を越えて一緒に活動することで学校全体が一つになり、お互いに刺激し合い、感謝し合いながら高まっていく姿がありました。

右の写真は、2月10日に行われた住吉小との合同あいさつ運動の様子です。これは、前期生徒会の皆さんが縦割り活動の一環として、「小学生にも広げていきたい」と提案してくれた活動です。迎える南中生、登校してくる小学生から、たくさんの笑顔が見られました。生徒の思いから前向きな活動ができる刈南中の良さだと思っています。

「共創」という言葉を大切に、いろいろな考え（相手）を理解しよう、一緒に創り上げよう、という思いで学校生活を前向きに過ごしてきた3年生の皆さん。その思いを受けとめ、一緒に盛り上げてくれた1・2年生の皆さん。「共創」している活動には、たくさんの「笑顔」が見られました。そして、3年生に卒業への饞となった予饞会では、たくさんの「感謝」「ありがとう」がありました。心と心が通い合っている仲間と創る時間は、とても心が温まるものでした。3年生の思いは、在校生がしっかり受けとめ、シンカさせてくれると感じました。



いいねカード～交通事故0を目指して～

交通安全委員の発案で、0の日の交通立ち番をしながら、登下校のマナーのよい人へ、「いいねカード」を配る活動が行われました。学校の周りは、市の中心部で交通量が多く、自動車や一般の方の自転車の通行に注意が必要です。また、小学生の通学路と重なっており、歩道を譲り合って通行する時間帯があります。交通ル

ールを守って登下校するだけでなく、マナーの向上を目指し、交通安全の意識を高めようという取組です。3月10日に、2回目の「いいねカード」を配付する交通立ち番があります。地域の方に愛される刈南中生になれるように、奮闘しています。



未来へ羽ばたく予餞会～出会いにありがとうを込めて～

今年度の予餞会のサブタイトル～出会いにありがとうを込めて～の基、予餞会が行われました。実行委員を中心に音楽部や生徒会、幕間の出し物、お世話になった先生方からのビデオレター、3年生の先生の出し物、思い出のアルバムなど全校生徒で盛り上がり、大いに楽しむことができました。各学年の発表では、心のこもった合唱が大変感動的で、胸が熱くなりました。「これぞ!」と卒業式に向かう決意を見せつけた3年生は、1・2年生に目指すべき素敵な姿を見せてくれたと思いました。例年、総合文化センターで行うこの会ですが、改修工事のため、今年度は体育館で行いました。いつもよりも近かったため、お互いの表情が見やすく、より気持ちが強く伝わる会になりました。保護者の皆様には、ライブ配信でその様子をお届けすることができました。



防災について考えよう

いつどこで起きるか分からない災害時に、「自らの命をまもる力」「主体的に行動する力」が必要になってきます。これまで行ってきた避難訓練だけでなく、より実践力を身に付けるために、職員、生徒で、どうするとよいだろうかと試行錯誤しました。まずは、災害発生時における職員・生徒の役割を再確認すること。そして、お昼の放送を活用して、生徒が考えた「防災クイズ」を実践し、生徒と共に、防災意識を高めました。さらに、予告なしのブラインド方式の避難訓練を実践することで、その場の状況に応じた臨機応変な行動力を高めることができました。避難訓練の後、各教室へ戻った生徒は、生徒主体で振り返りを行い、どこでどのような行動をしたのか、どんなことが困ったかなど、真剣に話し合う姿が見られました。教師もそれぞれの役割を試みたことで、いくつか課題を見つけることができました。いざという時、落ち着いて判断し対応できるような、防災訓練をこれからも模索し、実践していくことで、防災力を高めていけるようにと考えています。

